

カネット)・防護資材(樹皮ガード)の要望量調査を行います。要望がある方は、各問い合わせ窓口までお越しく下さい。



△シカネット

②新規狩猟免許取得に関する助成を今年度から行います。初心者講習費用(7,000円)と免許取得試験費用(5,200円)に対し1/2を助成します。対象者は免許取得後、国東市駆除部会へ加入した方に限ります。

☆各事業の詳細(補助要件、必要書類等)については、林業水産課、もしくは最寄りの各総合支所地域産業課まで、お問い合わせください。  
**申込期限**

10月29日(金)必着で要望書等を提出してください。

**集落全体で防ごう  
農産物の鳥獣被害**

野生鳥獣による被害については、中山間地域を中心に農作物に多大な損害を与えています。

これらの状況を踏まえ、野生鳥獣による農作物被害を防止するための10カ条を掲載します。

鳥獣から農作物を守るには、集落全体で取り組むことが大切です。イノシシなどの鳥獣の習性や行動を知り、農林産物を鳥獣害から守りましょう。



**『心がまえ』**

**一、相手を知らず！**

イノシシといえば「猪突猛進」のイメージがあるが、素顔は意外と臆病。一般的イメージ以上に学習能力が高いが、過少評価されている。一方、サルは過大評価が多く、「サルにはかなわない」とあきらめてしまいがちだが意外な弱点もあります。相手を知らずから防除の対策は始まる。

**二、当事者になる！**

猟師さんにまかせるだけではなく、動物の行動パターンを知ること

で、自分でできる対策も見えてくる。

**三、集落で共通意識を持つ！**

地域の田畑全体を守るという意識を持つ。自分の田畑を自分で守ることは、集落全体のエサ場としても魅力を下げることもつながる。

**四、噂は噂にすぎない！**

劇的な効果があると噂されたが、結局防ぐことができなかった防除法が山のようにある。科学的根拠のある情報を選びたい。

**五、あきらめない！**

動物たちにとって一番怖いものは私たち「人間」。完璧な防除ではなくても、嫌がらせを組み合わせ、集落に定着しにくいようにしていくことが重要。

**『対策』**

**六、集落に入れさせない！**

耕作放棄地、放置された収穫後の残りものなど、動物たちを集落に引き寄せるエサ場がないかどうか点検。集落のエサ場としての魅力を下げる。

**七、隠れ場所をなくす**

**「嫌がらせ作戦」!**

田畑のまわりのヤブを刈り払うなど、動物たちの嫌がる見晴らし

のよい場所をたくさんつくって、居づらくする。

**八、防除柵を通信しない！**

せっかくの電気柵も、下草管理の不備や設置場所の違いなどによって「漏電」や「絶縁」状態になり、効果がでないことがある。メンテナンスが大切だ。

**九、動物は臭い・音・光に慣れる！**

臭い・音・光などの忌避材そのものを嫌っているのではなく、仕掛けられたことによる「環境の変化」を警戒している。その変化に慣れる前に次の手を打ちたい。

**十、効果的な駆除**

「山の10頭より田畑の1頭!」被害を及ぼしていない山奥の捕獲数を上げるより、田畑を荒らす「不良獣」を狙う方が被害は減少する。

**問い合わせ**

**林業水産課**

☎0978-72-5198

**国見総合支所地域産業課**

☎0978-82-1113

**武蔵総合支所地域産業課**

☎0978-68-1970

**安岐総合支所地域産業課**

☎0978-67-1116